

ODML Magazine

有限会社アワデント 粟津貴昭

熊本市東区小峯1丁目1-95

096-331-0567 taka@ourdent.com

http://www.ourdent.com

Vol.139 2015.11.15

1. iPhone/iPadからのODMLアクセスを変更

先月末にアップデートを果たしたODMLですが、みなさま使い心地はいかがでしょう？リリース当初いくつか小さな問題も発生しましたが皆さまからのレポートで無事乗り切ることができました。これからもじわじわ進化させていく予定ですのでぜひご期待ください。

今回は前回言及してなかった**モバイル運用**について以下ご説明します。

これまでiPad、iPhone、スマホのブラウザで表示した場合は強制的にスマホ専用サイトを表示させていましたが、今回よりそれを撤廃し、

iPad、iPhone、スマホのブラウザからもパソコンと同じ画面をご利用可能といたしました。

その理由は、

- ・スマートフォンの画面が拡大しつつあること
- ・ブラウザの機能進化でパスワードの記憶が実装されたこと
- ・新たに商品マスター検索をスタートしたこと（完成すれば多くのPDFを同時に開いて作業する場合は減っていくと予想されます）



ご利用法は簡単です。

お使いのブラウザ（Safari、Chromeなど）にて

<http://www.odml.jp/> を開いた後に、それを**ブックマーク**していただくだけです。

iPhone、iPadの場合はホーム画面にアイコンを設定することができます。



もちろん従来のスマホ専用ページも引き続きご利用いただけます。

<http://www.odml.jp/sp>

を同様にブックマークしたり画面にアイコンを追加しておくことで場面に応じてお使いいただけますので、ぜひ活用ください！



2. 日本歯科新聞に広告を掲載しました

今年の夏以降数回にわたり日本歯科新聞に小さな広告を出してきましたが、10月20日号に少し大きめの広告を掲載しました。全国に広がってきたODMLご利用の歯科ディーラー様企業名を都道府県別に一覧表示したデザインで、主な新聞読者である歯科臨床家の皆さまにディーラーが取り組んでいる仕事スタイルについてご理解を得られればと考えたものです。先生方からの反応などあったらぜひお聞かせください！



3. 週刊業務日誌ブログ続いています

お盆明けから始めたOURDENT.COMでの公式ブログ「週刊業務日誌」ですが、毎週月曜日にその前の1週間を書きあげるというスタイルで続けております。回を重ねるごとに15年ほど前にネットに書いていたweb日記のスタイルそのものになってきました（ご記憶の方おられますでしょうか？）。ODMLの構築アップデートや歯科学術関係のサポート、それに出張に行った先々での写真などを適当にちりばめております。よろしければご一読いただき感想などいただければ幸いです。

<http://www.ourdent.com/blog/>



4. ODML追加更新文書状況報告

【期 間】2015年10月16日～11月15日までの1ヶ月間

【文書数】新規追加文書：135、上書き更新文書：42

5. 今後の出張予定

- ・11/17(火)～11/18(木) 姫路・大阪・奈良
- ・11/25(水)～11/28(土) 大阪
- ・12/03(木)～12/07(月) 京都
- ・01/10(日)～01/12(火) 横浜デンタルショー

6. Post Script

新しくなったODMLの取り扱いと新機能についてユーザー様にしっかり説明しなければと巡業の旅を始めています。キーワード検索については皆さんストレスなくお使いいただいているようですが、用途別絞り込みや検索結果の並び替え、お気に入り登録や後で読む機能（旧チェック）などについてはまだまだご利用いただけていない場合が多く（ご存じないケースも）、ひとえに告知不足だと反省している次第です。やはり歯科ディーラーの基本と同じで「対面活動」の重要性をひしひしと感じております。年末年始を挟んであちこち出向くと思っておりますので、その折にはどうかお時間ご都合いただけますと幸いです。

先週末に世界中に衝撃を与えたパリ同時多発テロには心底肝を冷やしました。普通に暮らしている人々がある日突然銃で撃たれたり食事中のレストランが爆発したりコンサート会場やサッカー観戦中に自動小銃を乱射されるなんてまるで一昔前のハードボイルド小説のようですが、実際に地球上で繰り返されている出来事だということが身に沁みました。

私たちは医療に関わる仕事に携わっています。時間と技術と費用と熱意をつぎ込んだ患者さんの口内がある日吹き飛ばされるなんてことが許されて良いはずもなく、だからこそ医療の側に立つ人間はとにかく目の前の人間を癒し、治し、力づけていく存在なのだなあと今さらながら感じ入ってます。

